

参考資料

農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課

バイオマス・ニッポン総合戦略

- 平成14年12月、政府は、バイオマスの利活用を政府一体となって総合的かつ計画的に進めるため、バイオマス・ニッポン総合戦略を閣議決定。（関係7府省）
- さらに平成18年3月には主に「バイオマスタウン構築の加速化」と「バイオ燃料の利用促進」の観点から総合戦略を見直した。

平成14年12月

バイオマス・ニッポン総合戦略を閣議決定

地球温暖化
の防止

バイオマスはカーボンニュートラルという特性。
化石資源を抑制し、地球温暖化防止に貢献。

循環型社会
の形成

廃棄物の発生を抑制し、限りある資源を有効活用する循環型社会へ移行。

戦略的産業
の育成

バイオマスが新たにエネルギー、新素材等に向けられることにより、全く新しい産業と新たな雇用の創出が期待。
環境問題は世界的な課題であり、日本発の戦略的産業として将来的な発展も期待。

農山漁村の
活性化

わが国は、温暖・多雨な気候であり、バイオマスが豊富。
バイオマスの利活用を推進することで、農業、農村社会の新たな可能性を拓く。

平成18年3月

総合戦略を見直し新たに閣議決定

見直しのポイント

バイオマスタウン構築の加速化

目標：平成22年度までに300地区程度

利用の進んでいない稲わら、林地残材などの未利用バイオマスの推進がカギ

バイオ燃料の利用促進

国産バイオ燃料の利用促進

平成19年2月に総理に報告した「国産バイオ燃料の大幅な生産拡大に向けた工程表」に基づき施策を推進

※関係7府省（内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）

国産バイオ燃料の大幅な生産拡大に向けて — 総理報告（工程表）のポイント —

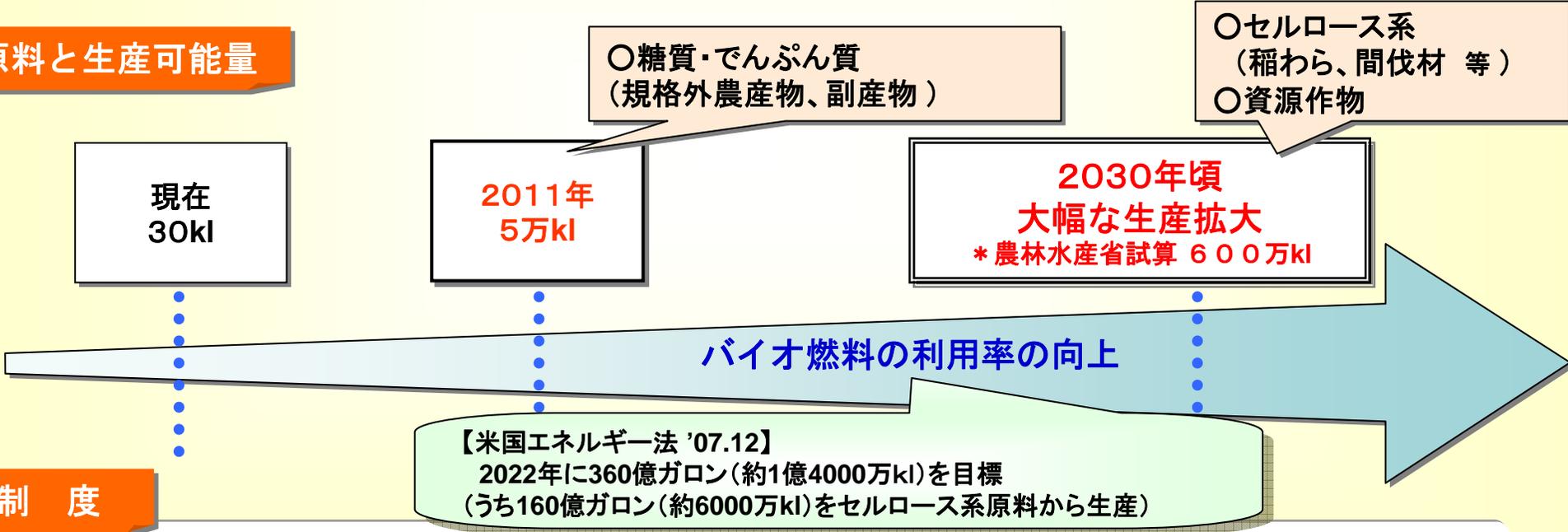
技術開発がなされれば2030年頃には国産バイオ燃料の大幅な生産拡大は可能

技術開発の課題と生産可能量

技術開発

- ① 収集・運搬コストの低減 …………… 山から木を安く下ろす、稲わらを効率よく集める機械等を開発
- ② 資源作物の開発 …………… エタノールを大量に生産できる作物を開発
- ③ エタノール変換効率の向上 …………… 稲わらや間伐材などからエタノールを大量に製造する技術を開発

原料と生産可能量



制度

欧米、ブラジルの制度を踏まえ、国内制度を検討

※総理報告は、関係7府省(内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)により取りまとめ

平成20年度 バイオ燃料関係予算概算決定の内容

国産バイオ燃料の大幅な生産拡大に向けたバイオマスの利活用の加速化

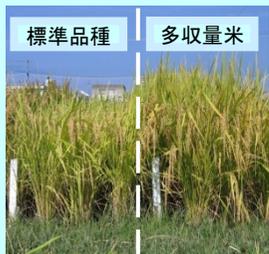


日本型バイオ燃料生産拡大対策 80(10)億円

研究開発

低コスト・高効率なバイオ燃料生産技術の開発

- ▼ 稲わら等の非食用資源等から高効率にエタノールを生産する技術の開発



地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発(ソフトセルロース研究開発) 7(7)億円

原料収集

稲わら等の効率的な収集・運搬の実証

- ▼ 稲わら等の刈り取り、集草から積込、運搬まで効率的に行うシステムの実証



燃料製造

ソフトセルロースからバイオ燃料を製造する技術の確立

- ▼ 酵素法等によるバイオ燃料製造技術の実証、発酵残さの農地還元システムの実証等



ソフトセルロース利活用技術確立事業 32(0)億円

- ▼ 林地残材や間伐材等、未利用森林資源活用のためのエネルギー利用等に向けた製造システムを構築



森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業 12(0)億円

- ▼ 地域で発生した稲わら等の未利用バイオマスをボイラー燃料などに変換する施設を整備



地域バイオマス利活用交付金(未利用バイオマス資源活用優先枠) 25(0)億円

意識改革 (普及・啓発)

地域の関係者(生産者、消費者、産業界、マスコミ等)が一体となって国民運動を展開

発見
(調査)

環境バイオマス総合対策推進事業 4(3)億円

活用
(実践)



食料供給と競合しない我が国独自のバイオ燃料生産拡大対策を世界にアピール

バイオ燃料の大幅な生産・利用拡大に係る平成20年度税制改正について

バイオ燃料の利用促進を図るため、以下の税制措置を創設

- バイオ燃料製造設備に係る**固定資産税の軽減措置**
- バイオエタノール混合ガソリンに係る**ガソリン税の軽減措置**

バイオ燃料製造設備に係る税制



固定資産税

- 措置事項: バイオ燃料製造設備に係る固定資産税を軽減（特例率1/2、特例期間3年間）
- 対象設備: バイオエタノール、バイオディーゼル燃料、バイオガス、木質ペレットの各製造設備

※ 農林漁業有機物資源のバイオ燃料の原材料としての利用の促進に関する法律に基づく「認定生産製造連携事業計画」に従って新設する対象設備に対して措置。

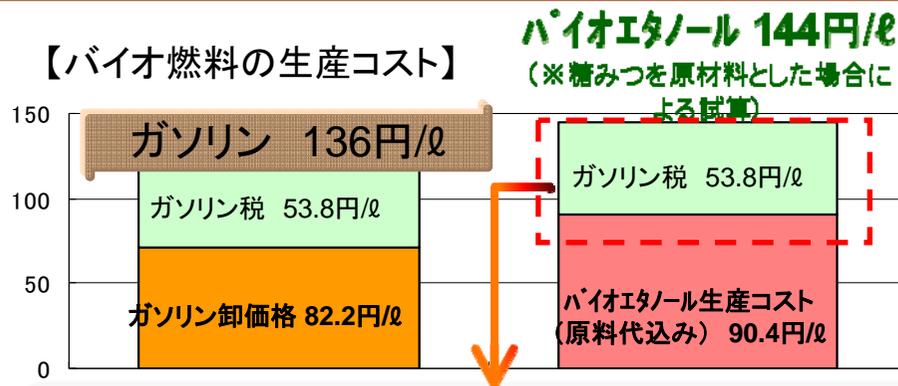
バイオ燃料そのものに係る税制



ガソリン税（揮発油税、地方道路税）

- 措置事項: バイオエタノール混合ガソリンに係るバイオエタノール分のガソリン税を軽減（53.8円/ℓの免税）

※ 揮発油等の品質の確保等に関する法律の一部改正法による揮発油特定加工業者の登録制度及び品質確認義務の導入時期に合わせて実施。



バイオエタノールを3%混合したガソリンの場合、
1ℓ当たり $53.8円/ℓ \times 0.03 =$ 1.6円が免税

※ガソリン税53.8円/ℓ = 揮発油税48.6円/ℓ + 地方道路税5.2円/ℓ、ガソリンについては2008年4月-6月の平均卸価格(出典:石油情報センター)

バイオ燃料に係る平成20年度税制改正に伴う効果

減税措置がなぜ必要？

◇ バイオ燃料はガソリンに比べ現時点では割高

→ 混合分を非課税とすることで、
価格面での競争力をもたせる

◇ 製造設備の導入に際し、

- ① 原料の供給が不安定かつ生産・収集・運搬に係るコストが高い
- ② バイオ燃料の製造コストが高いなどの問題が存在

→ 施設に係る税の軽減により事業参入を促進し、バイオ燃料を安定的・継続的に生産

バイオ燃料製造施設って高いの？

製造設備取得価額 **25億円**の場合
(総事業費50億円うち、国が
1/2補助)



バイオエタノール製造設備
(生産規模: 15, 000KL/年)

固定資産税額は

通常(減税なし)の場合

- 初年度 3,500万円
- 次年度 2,527万円
- 3年度 1,825万円

※固定資産税率: 1.4%
耐用年数: 9年
定率法: 27.8%/年
特例期間: 3年 の場合

固定資産税特例措置(減税あり)の場合

特例3年間1/2を乗じた場合は、

- 初年度 3,500万円 × 1/2 = 1,750万円 → **△1,750万円**
- 次年度 2,527万円 × 1/2 = 1,264万円 → **△1,264万円**
- 3年度 1,825万円 × 1/2 = 912万円 → **△ 912万円**

特例効果

3年間でおおよそ **4,000万円** の減税効果

(参入リスクの軽減、バイオ燃料の安定的・継続的生産に寄与)

あなたの街をバイオマスタウンに

○ バイオマスタウンとは

地域の関係者の幅広い連携の下、バイオマスを総合的に利活用している地域。バイオマスニッポン総合戦略に基づき「平成22年度に300地区」の目標達成に向け強力に推進している。

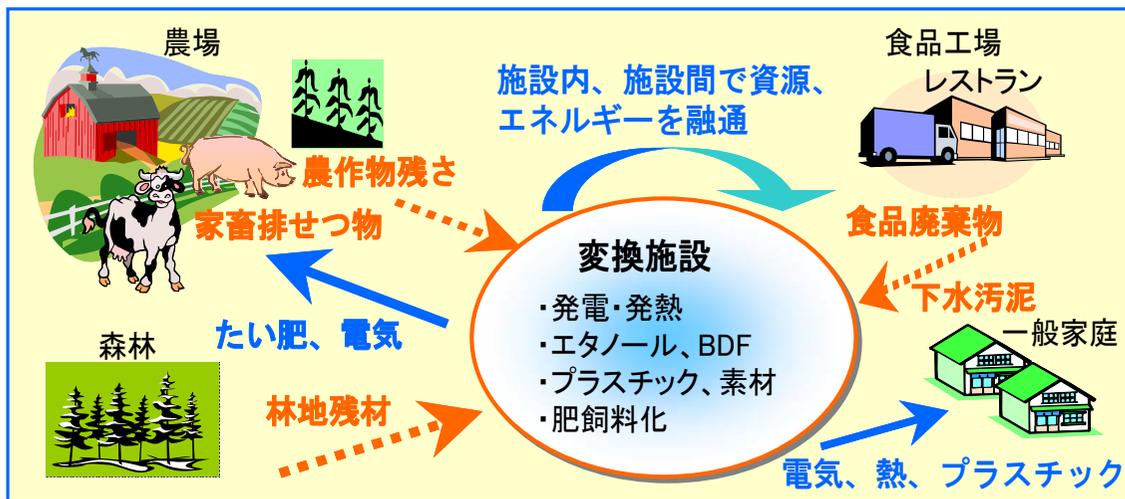
地域の状況の把握

- バイオマスの種類は地域ごとにさまざま
家畜排せつ物、食品廃棄物、下水汚泥、間伐材、水産加工残さ…
- バイオマスの利用方法もさまざま
製品：たい肥、プラスチック [バイオエタノール、
エネルギー：ガス、電気 [バイオディーゼル燃料]
- 施策ニーズもさまざま
温暖化対策を進めたい、エネルギーの地産地消を進めたい、地元企業による活性化を進めたい…

検討事項

- ・関係者の協力体制
- ・地域の需要に対応した、さまざまなバイオマスの総合的な利用方法
- ・効率的な収集・輸送、変換、利用のシステム
- ・無理のない運営

バイオマスタウンの構築



これまでの実績

- 16年度：13地区
- 17年度：44地区
- 18年度：90地区
- 19年度：136地区
- 20年度：157地区

バイオマスタウン
平成22年度
300地区を目標

主な取組みの例

新潟県佐渡市

地域資源の活用による「人とトキが共に生きる島づくり」

環境に優しく活力ある島づくりを目指し、木質バイオマス・廃食用油の利活用に取り組む。「島内の地域資源の活用で島内エネルギーを賄う島」が目標。



提供：佐渡とき保護センター

北陸

北海道下川町

森林と共生する低炭素社会の最先端

木質チップ・ペレット利用の経済的自立を実現するとともに、早生ヤナギの燃料化にも挑戦するなど、木質バイオマスリファイナリーを実現。



北海道

兵庫県加西市

地域循環のシンボル「菜の花列車」の走るまち

BDF鉄道・公用車をきっかけに、全市でのバイオマス利用等環境配慮型の健康で持続可能なライフスタイルの実現に向けた取組み。



近畿

岡山県真庭市

バイオマスタウンツアー発祥の地

木質バイオマス利活用施設等をめぐる「産業観光ツアー」により、都市・農村交流と地域の循環型産業の活性化を図ることでバイオマス産業振興を実現。



中国四国

沖縄県伊江村

農業を核とするバイオエタノールアイランド

地域資源を活用した「土づくり」による足腰の強い農業の実現と、バイオエタノール生産・利用等地域のバイオマス資源を有機的に循環させる取組み。



沖縄

大分県日田市

日本随一バイオマス資源の百貨店

市域の豊富なバイオマス資源を原料に、ガス化・木材チップ、飼料・堆肥化等、様々な利活用を実践する日本随一の取組み。



九州

秋田県小坂町

3R拠点の町が取り組むバイオマスの有効活用

鉱山・精錬業・リサイクル産業の拠点が、3Rの実績・経験を基に、菜の花プロジェクト等、地域に適した規模で資源循環の構築に取り組む。



東北

栃木県茂木町

「美土里」堆肥と農産物の地産地消

山林の落葉や農業由来の有機資源等を原料とする「美土里」堆肥で農産物を生産。地域ブランド化を成功させ、地産地消も実現。



関東

岐阜県白川町

森林・エネルギーの地域循環を目指して

「東濃ひのき製品流通協同組合」が中心となり、製材所の端材・木くずをエネルギーとして有効利用。地域のエネルギー循環と、基幹産業である林業の活性化を実現。



東海

バイオスタウン構想を公表した157市町村《平成20年9月末現在》

<p>福岡県</p> <p>大木町 立花町 築上町</p> <p>佐賀県</p> <p>伊万里市</p> <p>長崎県</p> <p>西海市 対馬市</p> <p>熊本県</p> <p>南阿蘇村 水俣市 あさぎり町 天草市 御船町</p> <p>大分県</p> <p>日田市 宇佐市</p> <p>宮崎県</p> <p>小林市 門川町 都農町</p> <p>鹿児島県</p> <p>南大隅町 いちき串木野市 志布志市 曾於市 西之表市 南種子町</p> <p>沖縄県</p> <p>伊江村 うるま市 宮古島市 金武町</p>	<p>兵庫県</p> <p>加西市 洲本市 宍粟市 豊岡市 南あわじ市 稲美町 多可町</p> <p>鳥取県</p> <p>大山町</p> <p>島根県</p> <p>美郷町 安来市 吉賀町 隠岐の島町</p> <p>岡山県</p> <p>真庭市 新見市 笠岡市笠岡湾干拓地域 津山市</p> <p>広島県</p> <p>庄原市 北広島町</p> <p>山口県</p> <p>宇部市 阿武町</p> <p>愛媛県</p> <p>四国中央市 内子町 東温市</p> <p>高知県</p> <p>梼原町 春野町(現高知市) 須崎市</p>	<p>岐阜県</p> <p>白川町 揖斐川町</p> <p>愛知県</p> <p>豊橋市 田原市 名古屋市</p> <p>三重県</p> <p>伊賀市</p> <p>滋賀県</p> <p>米原市 野洲市</p> <p>京都府</p> <p>夜久野町(現福知山市) 南丹市 京丹後市</p> <p>大阪府</p> <p>岸和田市</p> <p>徳島県</p> <p>那賀町</p>	<p>富山県</p> <p>立山町 富山市 黒部市</p> <p>石川県</p> <p>七尾市 加賀市</p> <p>福井県</p> <p>若狭町 美山町(現福井市) 大野市</p> <p>長野県</p> <p>三郷村(現安曇野市) 千曲市 長谷村(現伊那市) 佐久市</p> <p>静岡県</p> <p>湖西市</p>	<p>新潟県</p> <p>中条町(現胎内市) 上越市 柏崎市 佐渡市 三条市 聖籠町 新潟市 湯沢町</p> <p>群馬県</p> <p>川場村 太田市</p> <p>東京都</p> <p>あきる野市</p> <p>神奈川県</p> <p>三浦市</p> <p>山梨県</p> <p>早川町 山梨市 笛吹市 韮崎市</p>	<p>岩手県</p> <p>紫波町 遠野市 九戸村 花巻市 軽米町 葛巻町</p> <p>秋田県</p> <p>小坂町 横手市 能代市 東成瀬村 羽後町</p> <p>宮城県</p> <p>川崎町</p> <p>山形県</p> <p>新庄市 立川町(現庄内町) 藤島町(現鶴岡市) 鮭川村 村山市 西川町 飯豊町</p> <p>茨城県</p> <p>牛久市</p> <p>栃木県</p> <p>茂木町 那須町</p> <p>千葉県</p> <p>山武町(現山武市) 白井市 旭市 大多喜町 睦沢町</p>	<p>北海道</p> <p>留萌市 瀬棚町(現せたな町) 大滝村(現伊達市) 三笠市 中札内村 東藻琴村(現大空町) 別海町 鹿追町 滝川市 厚沢部町 帯広市 白老町 津別町 豊頃町 東川町 下川町 洞爺湖町 札幌市定山溪地区 八雲町 猿払村 壮瞥町 豊浦町 清水町</p> <p>青森県</p> <p>市浦村(現五所川原市) 青森市 藤崎町 鶴田町 十和田市 中泊町 八戸市 六ヶ所村</p> <p>福島県</p> <p>富岡町 会津美里町 大玉村 南相馬市 鮫川村</p>
--	---	--	---	---	---	---

